

**稲城市**

**子ども・子育て支援事業に関する  
ニーズ調査報告書**

**令和2年3月**

**稲城市**



# 目 次

<b>第1章 調査実施の概要</b> .....	1
1 調査の目的 .....	3
2 調査の設計 .....	3
(1) 調査票の種類と調査対象者等 .....	3
3 調査の実施方法と配布・回収状況 .....	4
(1) 調査時期と調査方法 .....	4
(2) 調査票の配布・回収状況 .....	4
4 報告書の見方について .....	4
(1) 年齢・学年の定義 .....	4
(2) 集計値について .....	5
(3) グラフの見方について .....	5
5 調査対象者の属性・家族状況 .....	6
(1) 就学前児童の属性 .....	6
(2) 小学校児童の属性 .....	7
(3) 居住地域の状況 .....	8
(4) 調査回答者の状況と配偶者有無 .....	8
<b>第2章 子育て家庭を取り巻く環境</b> .....	11
1 子育ての環境について .....	13
(1) 主に子育てを行っている方と親族等協力者の状況 .....	13
(2) 子育てに関する相談者の状況 .....	16
2 保護者の就労状況 .....	17
(1) 母親の就労状況 .....	17
(2) 父親の就労状況 .....	23
3 家庭の暮らし向きについて .....	30
<b>第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望</b> .....	35
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望 .....	37
(1) 平日の定期的な教育・保育事業 .....	37
(2) 幼稚園 .....	42
(3) 幼稚園の預かり保育 .....	42
(4) 認可保育所 .....	44
(5) 認定こども園 .....	44
(6) その他認可外保育施設 .....	45
(7) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由 .....	46
(8) 休日の教育・保育事業の利用意向 .....	48
(9) 病児・病後児保育事業の利用意向 .....	53
2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向 .....	60
(1) 地域子育て支援事業の利用について .....	60
(2) 不定期の一時保育の利用について .....	64
(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について .....	68
(4) ベビーシッターのような預かり事業の利用について .....	72
(5) ファミリー・サポート・センター事業の利用について .....	75
3 放課後の過ごし方について .....	78

(1) 平日の放課後の過ごし方について（就学前児童のみ） .....	78
(2) 土曜・休日の学童クラブ利用について（就学前児童のみ） .....	80
(3) 長期休暇期間中の学童クラブ利用について（就学前児童のみ） .....	84
(4) 小学校児童の放課後の過ごし方について（小学校児童のみ） .....	86
(5) 小学校児童の学童クラブの利用について（小学校児童のみ） .....	88
(6) 児童館やiプラザの利用について（小学校児童のみ） .....	106
(7) 放課後子ども教室の利用について（小学校児童のみ） .....	108
4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について .....	109
(1) 就学前児童 .....	109
(2) 小学校児童 .....	111
<b>第4章 育児休業制度等の利用状況 .....</b>	<b>115</b>
<b>第5章 子育てで感じていることの状況 .....</b>	<b>125</b>
1 子育てで感じていることの状況 .....	127
2 地域での生活・子育て環境について .....	131
3 地域の子育て支援の環境や支援への満足度 .....	156
<b>第6章 中学生本人 .....</b>	<b>159</b>
1 あなたのことについて .....	161
2 日頃の生活について .....	163
3 学校での生活について .....	174
4 地域での生活について .....	178
<b>第7章 自由記述 .....</b>	<b>187</b>
1 就学前児童の保護者 .....	189
2 小学校児童の保護者 .....	196
3 中学生本人 .....	200
<b>資料編 調査に使用したニーズ調査票の見本 .....</b>	<b>203</b>
就学前児童の保護者及び妊娠中の方用 .....	205
小学生の保護者用 .....	235
中学生用 .....	261

# 第 1 章

## 調査実施の概要



# 第1章 調査実施の概要

## 1 調査の目的

本市では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（子ども・子育て支援新制度）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間（平成27年度から平成31年度）を1期とする『稲城市子ども・子育て支援事業計画』を策定しました。

本調査は第二次計画の策定にあたり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」の算出や、「現在の利用状況」、「今後の利用希望」を把握することを目的として実施しました。

また、『稲城市子ども・子育て支援事業計画』は、これまで推進してきた『稲城市次世代育成支援行動計画』を継承しながら、より手厚い次世代育成を推進するために策定されています。第二次計画においても、子どもの幸せを第一に考え、全ての子どもが健やかに成長でき、市民、地域、行政が地域社会における全ての子育て家庭を支援していくための計画を推進してまいります。これらの計画策定に必要な情報を得るため、子育て家庭や中学生本人の生活実態の動向分析等、ニーズ調査を行っています。

## 2 調査の設計

### (1) 調査票の種類と調査対象者等

図表1 調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（就学前児童・妊娠中の方向け）」	
調査対象者	就学前児童を持つ保護者・妊娠中の方
調査件数	1,000件（就学前児童保護者800件、妊娠中の方200件）
調査内容	家族状況、就労状況、日常的な幼稚園・保育施設等の利用、育児休業の取得状況等
②調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（小学生向け）」	
調査対象者	小学生児童を持つ保護者
調査件数	740件
調査内容	家族状況、就労状況、放課後等の過ごし方等
③調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（中学生向け）」	
調査対象者	中学生本人
調査件数	260件
調査内容	日頃の生活、学校での生活、地域での生活等

### 3 調査の実施方法と配布・回収状況

#### (1) 調査時期と調査方法

調査時期：平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 28 日

調査方法：郵送方式（一部窓口配付）により調査票を配布・回収

#### (2) 調査票の配布・回収状況

図表 2 調査票の配布・回収状況

調査対象者区分	就学前児童の保護者・妊娠中の方			小学校児童の保護者		
地区	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
市全域	1,000	356	35.6	740	326	44.1
調査対象者区分	中学生					
地区	配布数	回収数	回収率			
市全域	260	113	43.5			

### 4 報告書の見方について

国資料は「就学前児童」と「就学児童」の名称を使用していますが、この報告書では違いを明確にするため、「就学児童」を「小学校児童」と表記しています。

#### (1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学校児童の年齢定義は、二一ズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

図表 3 二一ズ調査における年齢・学年定義

年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0 歳児	平成 29 年 4 月以降	6 歳児	平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月
1 歳児	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	7 歳児	平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月
2 歳児	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月	8 歳児	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月
3 歳児	平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月	9 歳児	平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月
4 歳児	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	10 歳児	平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月
5 歳児	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	11 歳児	平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月

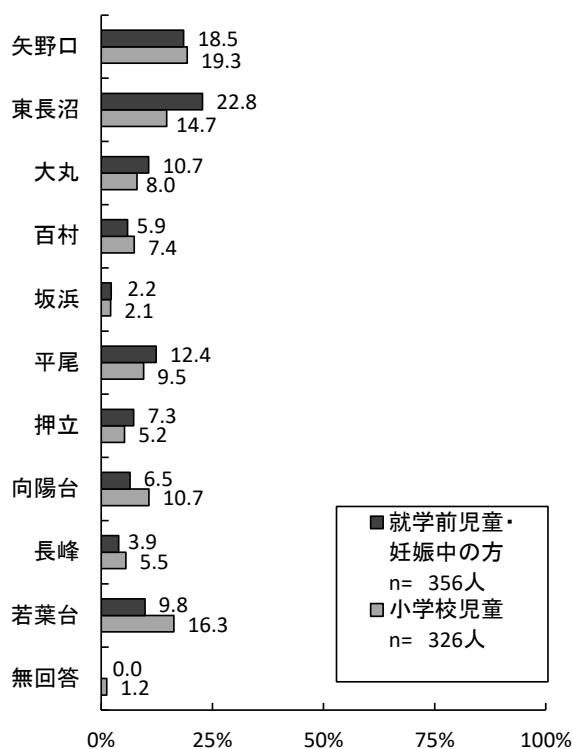
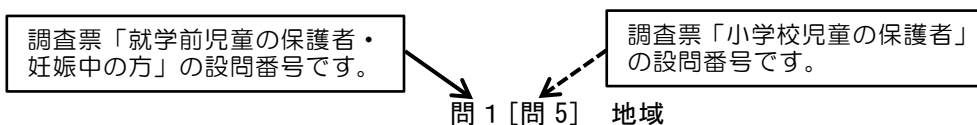
(注) 調査期間【平成 30 年度】における年齢定義



## (2) 集計値について

- ・調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- ・回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の設問の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超える場合があります。

## (3) グラフの見方について

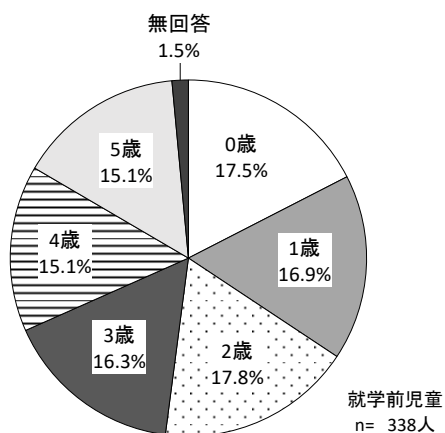


## 5 調査対象者の属性・家族状況

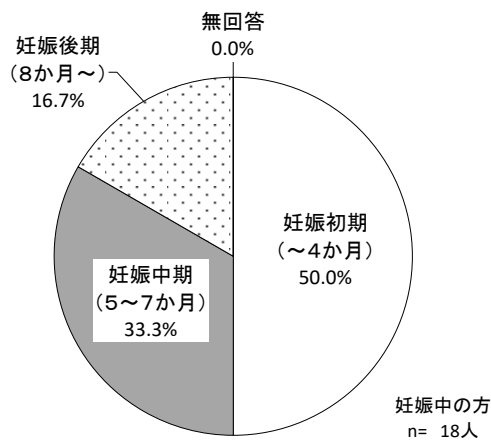
### (1) 就学前児童・妊娠中の方の属性

年齢は「2歳」(17.8%)、「0歳」(17.5%)が多くなっています。  
 妊娠中の方の妊娠経過は「妊娠初期」(50.0%)が多くなっています。  
 子どもの人数は「2人」(46.6%)が最も多くなっています。  
 末子の年齢は「1歳」(17.9%)が多くなっています。

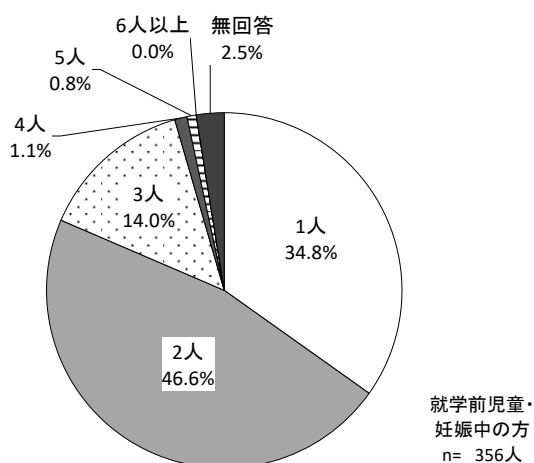
問2 お子さんの年齢



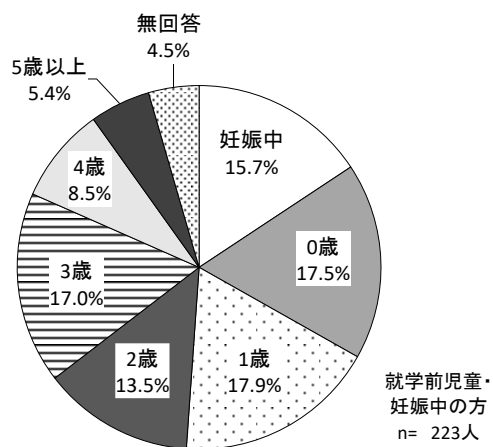
問2.1 妊娠中の方の妊娠経過



問3 子どもの人数



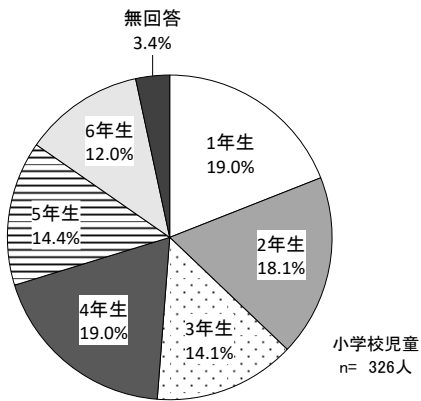
問3.1 末子の年齢



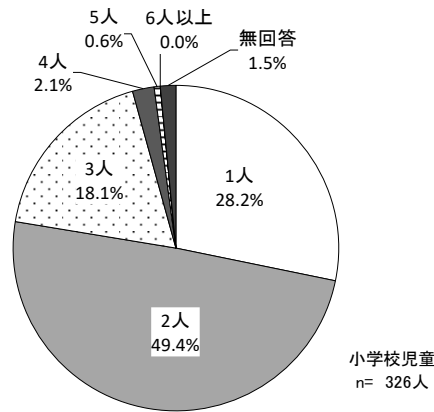
(2) 小学校児童の属性

学年は「1年生」「4年生」が各19.0%となっています。  
 子どもの人数は「2人」(49.4%)が最も多くなっています。  
 末子の年齢は「5歳以上」(59.0%)が多くなっています。

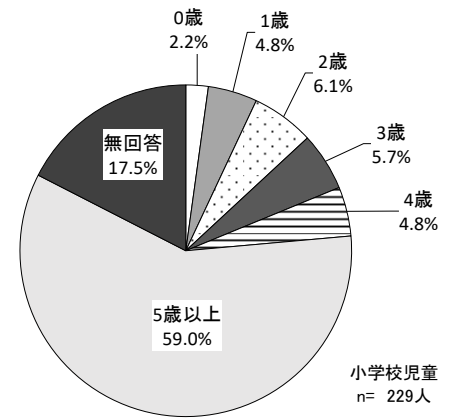
[問1] 学年



[問2] 子どもの人数



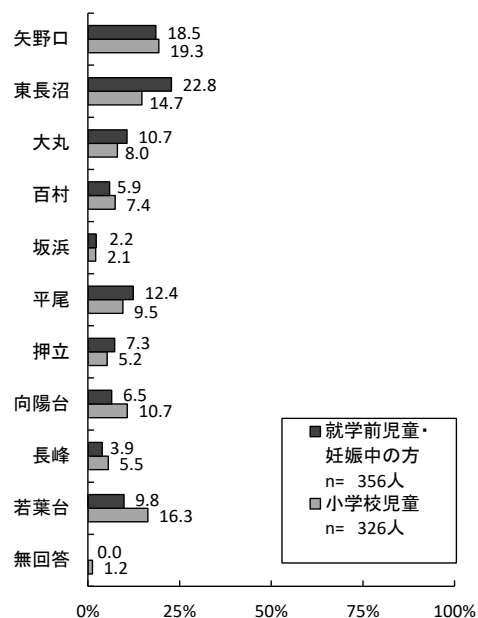
[問2.1] 末子の年齢



### (3) 居住地域の状況

就学前児童は「東長沼」(22.8%)、小学校児童は「矢野口」(19.3%)が最も多くなっています。

問1[問5] 地域(市全域)

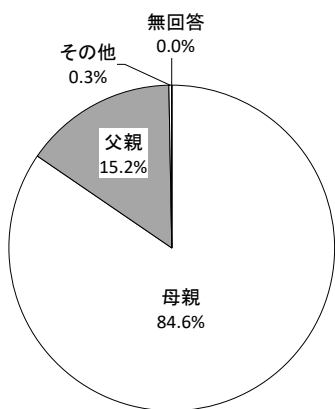


### (4) 調査回答者の状況と配偶者有無

調査回答者は「母親」(就学前児童 84.6%、小学校児童 78.8%)、配偶者の有無は「配偶者がいる」(就学前児童 96.6%)、同居・近居の状況は「父母同居」(小学校児童 89.3%)が最も多くなっています。

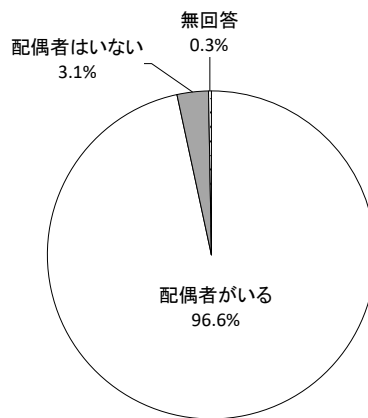
問4 調査回答者

(就学前児童・妊娠中の方)

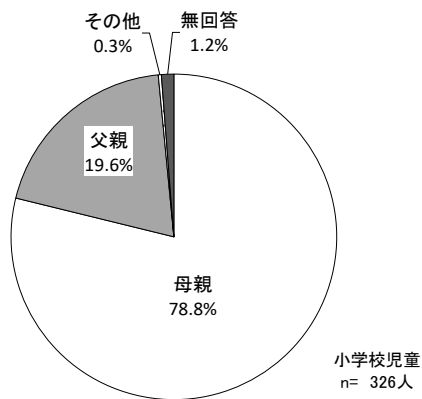


問5 配偶者の有無

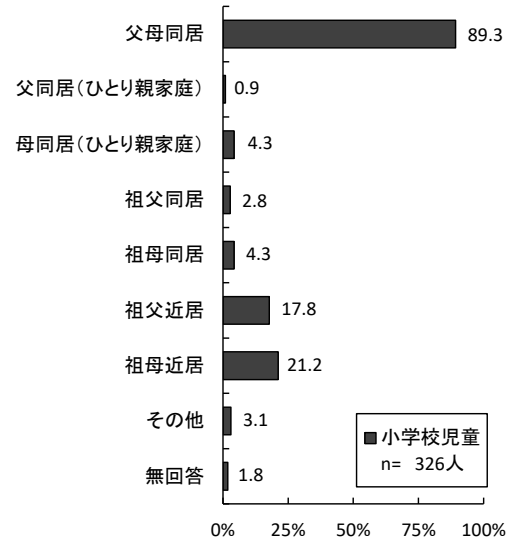
(就学前児童・妊娠中の方)



[問3] 調査回答者（小学校児童）



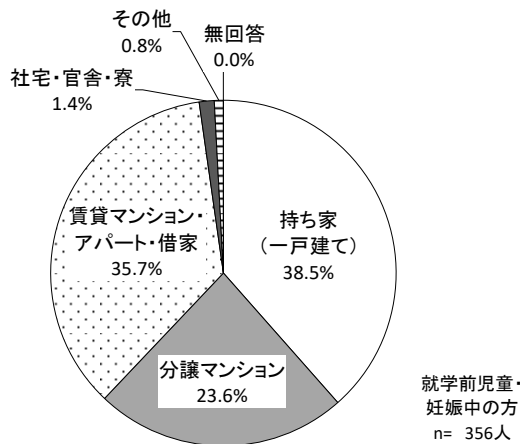
[問4] 同居・近居の状況



住まいの状況は、「持ち家（一戸建て）」（38.5%）が最も多く、次いで「賃貸マンション・アパート・借家」（35.7%）、「分譲マンション」（23.6%）となっています。

居住年数では、「5年～9年」（33.4%）が最も多くなっています。

問6 住まいの状況



問7 居住年数

